

知事の米国訪問の結果について

〔日付表示は現地時間〕
〔組織名称は一部略称使用〕

1 全体概要

NPT 運用検討会議第3回準備委員会でのシンポジウム開催や延べ12回の会談，大学での講演等を通じ，本県の平和の取組を世界に発信した。

【訪問日程等】平成26年4月24日(木)，25日(金)(ワシントン)

4月26日(土)～30日(水)(ニューヨーク)

(1) NPT 運用検討会議第3回準備委員会への参加

○シンポジウムの開催

○国連事務次長等との面談(4回)

- ・国連事務次長，国連開発計画(UNDP)局長，国連日本政府代表部大使，軍縮会議日本政府代表部大使

○各国政府代表との面談(2回)

- ・オーストリア政府首席代表，エジプト政府代表

(2) 政府関係機関及び研究機関等訪問

○政府関係機関(2回)

- ・国家安全保障会議(NSC)WMDテロ脅威削減担当上級部長
- ・米国国務省日本部副部長

○研究機関等(4回)

- ・核脅威イニシアティブ(NTI)会長，戦略国際問題研究所(CSIS)部長，外交問題評議会(CFR)日本研究上席研究員，カーネギー国際平和財団アジア部長

(3) 大学での講演(2回)

○ジョージタウン大学(ワシントン)

○コロンビア大学(ニューヨーク)

(4) その他

○グラウンド・ゼロ訪問，献花

2 シンポジウムの開催【4月30日(水)：ニューヨーク】



NPT 運用検討会議第3回準備委員会に参加する各国代表団，国連機関，国際機関，NGO 関係者を対象に，広島市長の出席を得て「2015年NPT運用検討会議に向けた取組について～広島の実験をいかして～」をテーマにシンポジウムを開催した。

まず，知事から①国際平和拠点ひろし

ま構想，②ひろしまレポート，③ひろしまラウンドテーブル，④広島が果たすべき役割等を紹介し，核兵器廃絶に向けた国際世論の喚起に向けた支援と協力を訴えた。さらに，各国の首脳が広島を訪問し被爆の実相に触れるべきこと，とりわけ，オバマ米国大統領の広島訪問を強く期待していることなどを訴えた。

続いて，松井広島市長から，平和首長会議が取り組む「2020 ビジョンの推進」，被爆の実相の継承，迎える平和の取組の推進などについてスピーチが行われた。

その後，「核兵器の人的影響を踏まえた核兵器廃絶の取組」，「各国の核軍縮，不拡散等の取組状況のモニタリング」をテーマとしたパネルディスカッションを行った。

今回のシンポジウムでは，アンゲラ・ケイン国連軍縮担当上級代表を始め，赤十字国際委員会，NGO関係者，軍縮研究機関関係者など多彩な参加者を得て実施できた。

特にアンゲラ・ケイン国連軍縮担当上級代表からは，スピーチで本県の「ひろしまレポート」，「ひろしまラウンドテーブル」の取組について高い評価をいただいた。

会場には，国連関係者，各国政府関係者，平和首長会議加盟各都市首長，世界的NGOなど核軍縮に関して重要な活動をしている関係者の来場が得られたことで効果的な発信ができた。

3 主な訪問概要

(1) 国家安全保障会議 (NSC) WMD テロ脅威削減担当上級部長ほかとの意見交換

【4月24日(木)：ワシントン】

2011年11月訪米以来の面会となったローラ・ホルゲイト WMD テロ脅威削減担当上級部長ほかと会談。「ひろしまレポート」等，本県の「国際平和拠点ひろしま構想」の取組について説明したほか，核兵器の人的影響に関する議論が核軍縮の進展に及ぼす影響等について意見交換を行った。

(2) 核脅威イニシアティブ (NTI) との連携強化【4月24日(木)：ワシントン】

2011年11月の訪米以来の面会となったジョアン・ロルフイング会長と会談。「国際平和拠点ひろしま構想」の状況報告と協力要請，「ひろしまレポート」，「ひろしまラウンドテーブル」の紹介と意見交換を行った。

核兵器の人的問題での議論において，広島の果たすべき重要性とそれに向けたNTI との連携の模索を提案。ロルフイング会長からは，県の取組に対する非常に高い関心が示され，相互に有益な共同プロジェクトの実施に向けた対話の継続とフォローアップを提案いただいた。

(3) 戦略国際問題研究所 (CSIS) 専門家との意見交換【4月25日(金)：ワシントン】

シャロン・スカッソーニ CSIS 不拡散プログラム担当部長ほか米国の核軍縮の専門家と「ひろしまレポート」，「ひろしまラウンドテーブル」，ユニタール広島事務所による復興支援活動等についての意見交換を行った。

集まった専門家とともに，核兵器廃絶に向けた具体的手法等について話し合った。

併せて，核兵器の非人道性について理解を深めるため，各国首脳による広島訪問の重要性を確認した。

(4) 外交問題評議会 (CFR) 関係者との意見交換【4月25日(金):ワシントン】

国際問題・米国の外交政策に係る著名なシンクタンクである外交問題評議会関係者と核兵器廃絶に向けた核兵器保有国政府による行動の必要性や広島・長崎を訪問した上での核軍縮の人道的側面に関する議論の重要性について協議した。

また、東アジアの安全保障の重要性や「ひろしまラウンドテーブル」の取組等についても話し合い、広島、長崎は実際に原爆投下を経験した立場から核軍縮を主張できる立場にある。核兵器が使用された場合、食料が破壊、汚染され、環境も放射能汚染される。核兵器の問題を現在ある現実的なものとして理解してもらう必要があるとの意見をいただいた。

(5) カーネギー国際平和財団との意見交換【4月25日(金):ワシントン】

ジェームズ・ショフ アジア・プログラム上級スタッフほかと会談。「国際平和拠点ひろしま構想」の紹介と核兵器の非人道性の問題等と各国指導者による広島・長崎訪問の重要性等について意見交換を行った。

アジア・プログラムを担当している同財団側からは、アジア問題の中で核不拡散の政策を扱う余地があり、その点において広島の構想を進める関係者との研究協力の可能性があるとの意見をいただいた。

(6) 米国務省関係者との意見交換【4月25日(金):ワシントン】

ピーター・ヘムッシュ 国務省日本部副部長等と会談。先の NPDI 外相広島会合に参加されたローズ・ゴッテメラー 国務次官による広島訪問への謝意を伝えるとともに「ひろしまレポート」及び「ひろしまラウンドテーブル」の資料により本県の平和推進施策等について説明した。

(7) 国連開発計画 (UNDP) ジョーダン・ライアン危機予防・復興局長との意見交換【4月28日(月):ニューヨーク】

ユニタール広島事務所による広島復興支援活動等の紹介と「ひろしまレポート」等について意見交換を行った。ライアン局長からは、過去の被爆の経験に基づく未来志向のポジティブな広島県の平和推進活動を賞賛いただくとともに、他の NGO 及び国連大学との連携の提案をいただいた。

(8) 高須幸雄国連事務次長との意見交換【4月29日(火):ニューヨーク】

「ひろしまレポート」及び「ひろしまラウンドテーブル」等、本県の平和推進事業の紹介と意見交換を行い、核不拡散に対する継続的な努力の重要性を確認するとともに、核兵器の非人道性を経験した広島の存在感の必要性等について話し合った。

併せて、中国、中東、北朝鮮の核事情についても意見交換を行った。

(9) アレクサンダー・クメント オーストリア外務省軍縮・軍備管理・不拡散部長・大使【4月29日(火):ニューヨーク】

「国際平和拠点ひろしま構想」を紹介するとともに、世界の指導者の広島訪問や今年ウィーンで開催される核兵器の非人道性に関する国際会議について意見交換を行った。

大使からは、本県の平和拠点構想に対して、広島からの核廃絶の取組は、NPT 再検討プロセスを推進していく上で極めて重要であり、市民社会の一員としてこうした取組を通じて国際社会に働きかけていくことは大切との評価をいただいた。

また、核兵器の問題は安全保障の問題であるに留まらず、核兵器の人道的結末の問題であり、指導者に広島を訪問してもらうことが重要との意見をいただいた。

併せて、今年ウィーンで開催される核兵器の人道性に関する会議には、核兵器国と非核兵器国等と一緒に取り組めたらよいと考えており、日本の政府と市民社会の積極的な参加に対する期待が表明された。

(10) サマー・アブール・エネイン エジプト外務省・国家安全保障・原子力平和利用 担当次官補・大使【4月30日(水):ニューヨーク】

「国際平和拠点ひろしま構想」を紹介するとともに、中東非核・非大量破壊兵器地帯や核軍縮分野の人材育成について意見交換を行った。

大使からは、本県の平和拠点構想に対して、大変興味深い取組であり、核軍縮の問題は複雑なので、様々な要素をバランスよく進めることが大切との評価をいただいた。

また、広島は人類史上初の原子爆弾の投下による破壊という人道的な唯一無二の経験を有している土地であり、今後の核軍縮の取組や核軍縮分野の人材育成において大きな役割を果たすことができるとの期待が表明された。

4 大学での講義

(1) ジョージタウン大学での講演、学生との意見交換【4月25日(金):ワシントン】

「核兵器のない世界の実現に向けた広島県の取組」と題した講演会及び学生との意見交換を行った。学生との意見交換では、核兵器の非人道性を理解してもらうため、世界の政治指導者等が広島を訪問し、被爆の実相に触れることの重要性を訴えるとともに、ユニタールを通じた広島の復興支援活動を紹介した。

(2) コロンビア大学での講演、学生との意見交換【4月29日(火):ニューヨーク】

「核兵器のない世界の実現に向けた広島県の取組」と題して、「国際平和拠点ひろしま構想」を中心に、国際平和のための広島県の使命と役割及び取組を紹介した。

マーシャル諸島による核保有国に対する国際司法裁判所への提訴を例に核兵器廃絶に向けた人道的側面からの新しい動きについても意見交換を行った。

5 その他

(1) グラウンド・ゼロ訪問、献花【4月27日(日):ニューヨーク】

松井広島市長とともに2001年の米中枢同時テロで倒壊した世界貿易センタービル跡地を訪問し、犠牲者への追悼を行うとともに、原爆と同様、市民を攻撃対象とした非人道的行為であるテロ行為が繰り返されないことを誓った。

6 日 程 平成 26 年 4 月 24 日 (木) ~4 月 30 日 (水)

月 日	時 間 (現地時間)	項 目	場 所
4/24 (木)	(移 動) 14:00~ 15:30~ 17:00~	成田発 ワシントン DC 着 ・国家安全保障会議 (NSC) ローラ・ホルゲイト氏等との 意見交換 ・核脅威イニシアティブ (NTI) ロルフイング会長との意 見交換 ・ジョージタウン大学での講演会	
4/25 (金)	9:30~ 12:00~ 15:00~ 16:20~	・戦略国際問題研究所 (CSIS) 専門家との意見交換 ・外交問題評議会 (CFR) 関係者との意見交換 ・カーネギー国際平和財団 ジェームズ・ショフ氏との意 見交換 ・米国国務省関係者との意見交換	
4/26 (土)		ワシントン DC 発 ニューヨーク着	
4/27 (日)		ニューヨーク滞在 グラウンド・ゼロ訪問, 献花	
4/28 (月)	10:00~ 15:30~ 18:00~	・NPT 運用検討会議準備委員会傍聴 ・国連開発計画 (UNDP) 危機予防・復興局長との意見交換 ・国際連合日本政府代表部 吉川大使との懇談	
4/29 (火)	10:00~ 10:30~ 12:40~ 15:00~ 17:00~ 19:30~	・NPT 運用検討会議準備委員会傍聴 ・高須幸雄国連事務次長との意見交換 ・オーストリア外務省軍縮・軍備管理・不拡散部長・大使 との意見交換 ・市民社会プレゼンテーション (リーチングクリティカル ウィル主催) 傍聴 ・コロンビア大学での講演会 ・軍縮会議日本政府代表部佐野大使との懇談	
4/30 (水)	11:45~ 13:15~14:30	・エジプト外務省・国家安全保障・原子力平和利用担当 次官補・大使との意見交換 【県主催シンポジウム】 (スピーチ) ○知事 『『国際平和拠点ひろしま構想』の推進』 ○広島市長 『『2020 ビジョン』の推進』 ○アンゲラ・ケイン国連軍縮担当上級代表 (パネル・ディスカッション) ◆核兵器の人的影響を踏まえた核兵器廃絶の取組 ◆各国の核軍縮, 不拡散等の取組状況のモニタリング 等 ニューヨーク発	